

ロシア文化の悲劇 — 国家崩壊期の芸術

ソ連崩壊から25年、ロシアの文化・芸術はいかに試練を乗り越えたか？



Project
ink

2014. **3/8** 土
11:00-18:00 (開場 10:30)

会場：名古屋ガーデンパレス

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-11-13 TEL:052-957-1022

参加無料

主催：名古屋外国語大学

主管：科学研究費補助事業(科学研究費補助金)基盤研究(A)
(課題番号)23242018「ポスト・グローバル時代から見たソ連崩壊の
文化史的意義に関する超域横断的研究」(研究代表者：亀山郁夫)

参加を希望される皆さまへ

メールまたはファックスにて下記までお申込みください。

名古屋外国語大学

グローバルシンポジウム「ロシア文化の悲劇」開催事務局

E-mail : info@kameyamakaken.sub.jp FAX : 0561-75-1750

プログラム

開会の言葉 亀山郁夫 (名古屋外国語大学学長)

第1セッション (司会：沼野恭子 東京外国語大学大学院教授) 11:00~12:30

- 基調報告1 コンスタンチン・ボグダーノフ (ロシア科学アカデミーロシア文学研究所上級研究員)
「真実、歓喜と"ロシアのシャンソン"—現代ロシアの一つの音楽的伝統の歴史」
- 基調報告2 ヴャчеслав・V・イワノフ (カリフォルニア大学ロサンゼルス校)
「文化の悲劇—ペレストロイカ再考」(報告書代読：亀山郁夫)

第2セッション (司会：鴻野わか菜 千葉大学准教授) 13:00~15:00

- 基調報告3 エカチェリーナ・ジョーガチ (ロトチェンコ記念モスクワ写真大学教授)
「ペレストロイカから現代までの美術と政治」
- 基調報告4 亀山郁夫 (名古屋外国語大学学長)
「国家崩壊後のロシアにおけるドストエフスキー文学とその表象化」

第3セッション (司会進行：沼野充義 東京大学大学院教授) 15:10~16:30

- ラウンドテーブル
「ロシア文化の悲劇をめぐって」
【パネリスト】
コンスタンチン・ボグダーノフ (ロシア科学アカデミーロシア文学研究所上級研究員)
エカチェリーナ・ジョーガチ (ロトチェンコ記念モスクワ写真大学教授)
鴻野わか菜 (千葉大学准教授)
亀山郁夫 (名古屋外国語大学学長)

第4セッション 16:40~17:50

- 分科会討論A 岩本和久 (稚内北星学園大学教授)
「ヴィクトル・ペレ—ヴィンと現代ロシア」
- 分科会討論B 鴻野わか菜 (千葉大学准教授)
「イリヤ・カバコフ／ソ連文化／グローバル・アート・ワールド」

学長招待レセプション (司会：古賀義顕 東海大学准教授) 18:00~19:30

挨拶 亀山郁夫 (名古屋外国語大学学長)
乾杯 諫早勇一 (同志社大学教授)